



平成24年2月8日

各 位

上場会社名 株式会社 J-オイルミルズ
代表者 代表取締役社長 榎田 純和
(コード番号 2613)
問合せ先責任者 執行役員経理部長 立見 健一
(TEL 03-5148-7100)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年11月7日に公表した平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190,000	7,300	7,200	3,900	23.36
今回修正予想(B)	182,000	5,300	5,200	2,900	17.37
増減額(B-A)	△8,000	△2,000	△2,000	△1,000	
増減率(%)	△4.2	△27.4	△27.8	△25.6	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	172,041	4,262	4,228	1,796	10.75

修正の理由

製油産業におきましては、原料相場の高騰と油脂の連産品であるミールの相場低迷による搾油採算悪化が進行しております。このような厳しい環境に対し、当社は、期初から価値に見合った製品価格を実現するため価格改訂について得意先に対し粘り強く理解を求めてまいりましたが、一定の成果はあったものの、景気の影響による需要減少や長引くデフレにより所期の目標に達していない状況にあります。

特に第3四半期以降は、原料相場が第2四半期までと比較し下落する展開となり、一部で製品価格が低下に転じました。他方、コスト面では、為替相場が想定よりやや円安で推移したことや、原料相場低下の製品コストへの反映が想定より遅れていることから、製品コストの低下は小幅に留まる見込みであります。また米国産原料大豆の新穀の品質が想定より大きく悪化する検査結果となり、生産歩留低下によるコストアップが見込まれております。

以上のような販売・コスト両面における環境悪化を受け、当社では販売促進費の削減をはじめとする一層のコストダウン施策を追加で策定いたしました。当初の目標利益の達成は難しくなったと判断いたしました。

また、税制改正に伴い繰延税金負債の取崩しが繰延税金資産の取崩しを上回り、税金費用の減少が見込まれております。

この結果、通期の連結業績予想は、売上高1,820億円(前年同期比5.8%増)、営業利益53億円(前年同期比24.4%増)、経常利益52億円(前年同期比23.0%増)、当期純利益29億円(前年同期比61.5%増)といたします。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上